

令和2年度学校関係者評価

中央歯科衛生士調理製菓専門学校 高度調理経営学科

令和2年度学校関係者評価委員

■保護者

拇速久美子様 高度調理経営学科2年里奈さん保護者

■企業関係者

黒羽 徹様 リストランテ桜鏡 総料理長

■他校関係者

高野信広様 中央調理製菓専門学校静岡校 調理学科長

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】

| | | 平均 |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。 | A |
| 2 | 教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。 | A |
| 3 | 教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。 | B |
| 4 | 組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。 | B |
| 5 | 鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。 | A |

【現状の問題点】

学生への浸透が今一步であるので、朝礼で読むなど対応を図る必要がある。その他については特に問題はなかった。

【改善のための方策】

- ・学生クレド等、コロナ禍に於いて三唱する機会が少なかったため、実習前にも衛生クレドとともに、日常的に三唱する習慣をつけるよう啓蒙活動をする。
- ・職員にもより浸透させるため、教育目標等を可視化し、日常的に職員が意識する環境をつくる。

【関係者評価】

友達感覚になってはいけないのである程度規律をもっていかなきゃいけないと思います。教える時にもきつい言い方はやめるよう他の社員に注意したりしています。怒鳴りながら教えた場合、怒られたという印象しか残らないため、前置きの説明をしっかりとしながら理由付けをして1つずつ確実に教えて行くようにしています。

2. 学校運営

【自己評価結果】

| | | 平均 |
|----|----------------------------|----|
| 5 | 目標を達成するための事業計画が策定されているか | A |
| 6 | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 | A |
| 7 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | B |
| 8 | 就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。 | A |
| 9 | 組織内の連携は適切に図られているか。 | A |
| 10 | 上司の指示は適切にされているか | A |
| 11 | 上司は提案を受け入れてくれているか | A |
| 12 | 職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。 | B |
| 13 | BSCは適切に活用されているか。 | B |

【現状の問題点】

新入教職員が増えているが連携等についても問題はないようである。BSCについても適切な活用に慣れていけると思われる。

【改善のための方策】

- ・職務内容の共有を徹底し、お互いの仕事を可視化することで、二重の仕事や無駄な仕事を排除するよう心掛ける。
- ・新入職員も含め、BSCの施策を念頭に置き、教職員で活用していく。

【関係者評価】

職場内での意見をきいてもらえるか等の項目がありますが、職場環境を整える事はとても重要な事ですので、職員のほうにはどんな些細なことでも相談するように伝えていきますのでこうしてアンケートの結果にも高い点数としてあらわれているのかなと思います。

| 3. 教育活動 | | |
|--|---|----|
| 【自己評価結果】 | | 平均 |
| 14 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | B |
| 15 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | A |
| 16 | 資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。 | A |
| 17 | 資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。 | A |
| 18 | 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか | A |
| 19 | 目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。 | A |
| 20 | 職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか | A |
| 20 | シラバスは十分に検討し作成されていたか。 | A |
| 21 | シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。 | A |
| 22 | 教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか | A |
| 23 | 十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。 | B |
| 24 | 学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。 | A |
| 【現状の問題点】 | | |
| 製菓衛生師試験の合格率を上げるために指導体制の見直しをしていく必要がある。 | | |
| 【改善のための方策】 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価を更に充実させ、こちらから一方通行の授業、指導にならないよう常に心掛ける。 ・ 国試の合格率を上げるため、事前学習の質を上げる。後手にならないよう、学生に対しても早めの対応を心掛ける。 ・ 本年度はコロナ禍に於いて、研修が実施できなかったが、可能な限り研修に参加をし、教職員のスキルをあげていく。 | | |
| 【関係者評価】 | | |
| 静岡校は、製菓衛生師科がありますので、調理師科の通信科受講者は製菓衛生師科と一緒に国家試験対策をおこなっておりますので、その影響もあると思います。 | | |

| 4. 学修成果 | | |
|---|----------------|----|
| 【自己評価結果】 | | 平均 |
| 26 | 就職率の向上が図られているか | B |
| 27 | 退学率の低減が図られているか | B |
| 【現状の問題点】 | | |
| 就職先の開拓などが必要になってくるかと思われる。求人状況をネットで見られるようにする予定がある。 | | |
| 【改善のための方策】 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職率については、結果的には100%となったが、今後のことを考え、現在お付き合いのある企業様にもご協力をいただき、新しい就職先の開拓も積極的に行う。 ・ 退学率はやはり現状のままではいけないので、一人でも退学者を減らすため、担任のみならず、教職員全員が情報を共有していくことが重要である。 | | |
| 【関係者評価】 | | |
| 今年度は4月より休校やリモート授業もあり、学校への登校がなく、自宅待機明けに登校開始となったときに学習に対するモチベーションが上がらない。年度初めの退学者対策として、入学前教育を行うのがよい。 | | |

| 5. 学生生活支援 | | |
|---|--|----|
| 【自己評価結果】 | | 平均 |
| 28 | 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。 | A |
| 28 | 各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。 | A |
| 29 | 防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 | A |
| 30 | 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。 | A |
| 31 | 中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。 | A |
| 【現状の問題点】 | | |
| 特に問題はないと思われる。 | | |
| 【改善のための方策】 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 不法侵入などの防犯対策を更に万全にしていく必要がある。(さすまたの導入等) 引き続き、専門的なカウンセラーの先生にご依頼をするが、教職員で解決できる案件については、なるべく教職員が対応をする。そのためにはどんな些細な案件でも報連相を徹底し、共有をする。 | | |
| 【関係者評価】 | | |
| 連絡事項とか企業では上司又は会社から発信された情報を聞いていなかったというのは通らない、学生のうちから自分から情報をとりにいくように指導する。今後社会にでた時に会社から情報を与えて貰えるものだと思ったままではいけないのかなと感じているからです。 | | |

| 6. 教育環境 | | |
|--|----------------------------------|----|
| 【自己評価結果】 | | 平均 |
| 33 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | B |
| 【現状の問題点】 | | |
| 整備を数年計画で検討していくようにし、予算に無理のないように整備を実施していく必要がある。 | | |
| 【改善のための方策】 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 今後数年の購入計画を整備し、耐用年数を把握し、年度途中で故障、破損が出て授業や実習に障害がでないように十分に注意をする。 新規で購入していただいた機器についても、破損、汚損には十分に留意し、学生にもその指導を徹底する。 | | |
| 【関係者評価】 | | |
| 機材の突然の故障等に迅速に対応し、授業に支障なないように。 | | |

| 7. 学生の受け入れ募集 | | |
|--|--------------------------------------|----|
| 【自己評価結果】 | | 平均 |
| 34 | 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。 | A |
| 34 | 入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 | A |
| 35 | 体験入学の時期、回数、内容は適切か。 | A |
| 36 | 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。 | A |
| 【現状の問題点】 | | |
| 特に問題はないと思われるが、学生募集の努力は続けていかなければならない。 | | |
| 【改善のための方策】 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 入学生目線で内容を考え、他校のものも参考にしながら作成していく。 何を一番の売りにするのか、他校との差別化を図った内容を検討していく。 オープンキャンパスの内容も、今の流行を常に把握しておくことが必要。体験者が興味を持つ内容にしていく。 | | |
| 【関係者評価】 | | |
| 特に問題なし。 | | |

| 8. 財務 | | |
|--|--------------------------------------|----|
| 【自己評価結果】 | | 平均 |
| 38 | ・ 中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか | A |
| 39 | ・ 学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか | B |
| 【現状の問題点】 | | |
| 予算の流用はなるべく少なくなるようにしたい。 | | |
| 【改善のための方策】 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 月ごとの決算書を確認し、それを重要部分は可視化し、教職員で共有していく。 ・ 耐用年数を考慮し、それを踏まえて予算を作成する。 | | |
| 【関係者評価】 | | |
| 特になし。 | | |

| 9. 法令等の遵守 | | |
|--|------------------------------|----|
| 【自己評価結果】 | | 平均 |
| 40 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | A |
| 40 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | A |
| 41 | 個人情報保護法を遵守しているか。 | A |
| 42 | 各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。 | A |
| 【現状の問題点】 | | |
| 特に問題はないと思われる | | |
| 【改善のための方策】 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務室内の個人情報の管理がまだ甘いのではないかと懸念。鍵をかけるべき箇所はしっかりと鍵をかけ、紙ベースでの業務をできるだけ避け、データ管理を心掛ける。 ・ ハラスメント委員会を中心として、定期的にハラスメントのミーティングを実施しているが、いろいろな事例を参考に、教職員間のハラスメント、対学生へのハラスメントが100%なくなるよう、風通しの良い職場環境を作る。 | | |
| 【関係者評価】 | | |
| ハラスメントの問題はデリケートな部分があるので、話しやすいシステムがあるとよい。 | | |